

北海道

道庁

北海道営業部 011・281・5364
 事業グループ 011・281・5252
 販売部 0120・468・012
 Eメール 0120・468・012
 mainichi.co.jp
 hokkaido/

森下裕美 (4550)



防護柵に巻き付けられて光るワイヤロープ
 —理研興業の実験場で、同社提供



視界不良時に効果期待

防護柵メーカーの理研興業(小樽市)が、道路の防護柵などに取り付けられる「光るワイヤロープ」を開発した。夜間や暴風雪による「ホワイトアウト」など視界不良時の事故防止効果が期待され、年内にも高速道路で試験的な装着が計画されている。

小樽のメーカー開発

高速道路の暫定2車線区間で全国的に反対車線間の飛び出し事故が問題になっており、一部区間で試験的に中央にワイヤロープ式の防護柵が設置された。ただ夜間や暴風雪などの時の視認性が課題となるため、「ロープ自体を光るようにすればどうか」と考案したという。

理研興業の柴尾幸弘副社長は「見通しが悪いときでも線として道路を認識できれば、安全が向上するのでは」と期待している。

大空町の東藻琴芝桜公園で16日、シバザクラの満開宣言が出された。昨年より3日早く、今週末にかけてが見ごろとなるそうだ。

同公園の小高い斜面約10万平方メートルには、ピンク、赤のシバザクラが敷き詰められ、国内最大規模とされる。公園管理会社によると、1日の開花宣言後、15日までに前年を上回る約2万1000人が入場。写真映えること

から、客も「思っちゃ、ん(3)妻は、ちや、りも、より、てい

光る道路防護柵



支援者に手を振りながら札幌地裁に入る原告の小島妻麗子さん(左)＝札幌市中央区で、貝塚太一撮影

旧厚生省の統計資料によると、北海道は強制手術を受けた全国1万6475人のうち16%の25593人を占め、2番目の宮城県より1000人以上多い。51年に道は道内の知的障害児施設の運営者



「写真より感動」シバザクラ満開

大空

同公園の小高い斜面約10万平方メートルには、ピンク、赤のシバザクラが敷き詰められ、国内最大規模とされる。公園管理会社によると、1日の開花宣言後、15日までに前年を上回る約2万1000人が入場。写真映えること

から、客も「思っちゃ、ん(3)妻は、ちや、りも、より、てい